



よこすか景観 ニュース

第17号

発行 2017/02/01
よこすか都市景観協議会

MAP④ 横須賀市安針台から東京湾を望む

. Y O K O S U K A C I T Y .

谷戸から見た魅力ある横須賀の景観

谷戸をつなぐ「浦賀道」



MAP① のの字橋

● のの字坂と失鎌谷戸(田浦町1丁目)

JR 田浦駅から国道 16 号を横切り、狭い道を山の方へ上ると立体交差するところが「の」の字になっていることから、ここは「のの字坂」といわれている。

ここは戦時中、海軍が城の台(しろんだ)に防空砲台(アメリカの爆撃機 B-29 迎撃用に高射砲を備えた砲台)を築き、物資を運び上げるために作られた道路といわれている。

道をつなぐ陸橋を「のの字橋(①)」(ループ橋)といい、ループ(輪)は直径 40m ほどで輪の中には児童公園がある。のの字坂を過ぎると眼下には田浦、失鎌谷戸(田浦 1 丁目)が見渡せる。ゆるい上り坂で長浦湾まで見渡せ、とても眺望の良い地域だ(②)。

● 【のの字坂～十三峠】 浦賀道(うらがみち)

のの字坂を上がり、安針塚へ向かう尾根道が続くあたりを十三峠という。

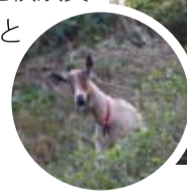
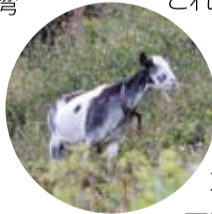
かつては浦賀道の最大の難所といわれ、昔は上り下りする旅人や村民たちにとっては非常につらい道であったようだ。この坂道の途中、右手に「開拓記念碑」がある。このあたりは戦後の食糧難対策として農地開拓が行なわれていた地域ということだ。ちょうどこのあたりから長浦、中の谷戸(長浦町 4 丁目)や長浦湾から猿島方面、遠くには房総半島まで一望できる(③)。江戸時代に東海道五十三次などで有名な画家、安藤広重もこの峠を旅し、その眺望の美しさから「浦賀道田浦山中」と題する絵を描いている。

(加藤委員)

● 谷戸を歩く 浦賀道を歩く

10月の良く晴れた日、まずは安針塚駅から南方へ行き吉倉町まで歩いた。坂道が続く。ようやく安針台の一番上にたどりつき、振り返ると…なんと素晴らしい景色!(④表紙) 緑に囲まれた吉倉町の住宅群の先には東京湾が見える。上り坂の疲れも一瞬忘れるほどの風景と心地よい風が気持ちいい。

少し先に進むと本町山中有料道路の下で「塚山公園まで徒歩 5 分」の看板。5 分!? こんな抜け道があったのかと驚いた。有料道路沿いに吉倉町へ歩く。ここからの景色もいい(⑤)。逸見町の天空の街と、かすかだが横須賀本港も見える。さらに奥へ進み今度は細い脇道へ。長い階段を降りるとこれまたスコーンと抜けたいい景色! JR 横須賀線と横須賀本港が見渡せる(⑥)。来た道を戻ろうと振り返ると目の前の土手に、えっヤギ!? こちらを興味津々で覗き込む姿がとても愛らしかった。



次に向かったのは JR 横須賀駅から汐入方面。

国道 16 号線のトンネルの上に上がる階段を上り汐入地区へ歩く。かなり足にきている…だがまだ坂と階段は続く。

やっと頂上まで着いた。下を向いて歩いていた顔を上げてみると…おっ『絶景!』(⑦)

眼下に広がった景色はまさに絶景だった。イージス艦、ドライドック、線路、国道、まさに横須賀ならではの景色!! 横須賀谷戸地域を散策して初めて見る景色や新たな発見があった。緑と海が豊かなこの場所は横須賀の宝だと思う。

(樋口委員)



MAP② 長浦湾への眺め



MAP⑤ 吉倉町付近から
横須賀市街を望む



MAP⑥ 横須賀本港への眺め



MAP③ 長浦町3丁目から猿島を望む



MAP⑦ 横須賀隧道山頂から横須賀本港を望む